

2019年度に町田駅周辺地域エリア防災計画策定以降、町田駅周辺の環境変化や「首都直下地震等による東京の被害想定」の見直しなどがあり、これらを計画に反映し、より実効性のある帰宅困難者対策を実施していくために、下記のとおり計画を改定します。

1 国及び東京都の動向

- ・2022年 5月（東京都）首都直下地震等による東京の被害想定 公表
- ・2023年 5月（東京都）東京都地域防災計画（震災編）修正
- ・2023年 5月（東京都）東京都帰宅困難者対策実施計画 改定
（震災編第2部第9章を実施計画として位置付け）
- ・2024年 7月（内閣府）大規模地震の発生に伴う帰宅困難者等のガイドライン 改定

2 エリア防災計画の主な改定ポイントについて

1 各種被害想定への反映【計画第2章第2】

（1）首都直下地震等による東京の被害想定（2022年5月公表）

○町田駅周辺における滞留者数（都被害想定抜粋）

・東京都被害想定を計画に反映します。

町田駅周辺における帰宅困難者の
総数は37,604人



駅周辺滞留者	
屋内滞留者	屋外滞留者
31,538人	6,066人

（2）町田市地域防災計画（2023年度修正）

・2023年度に修正を行った地域防災計画における、帰宅困難者についての記載を反映します。

2 情報発信・啓発活動の記載【第3章第1】

・情報発信の方法や啓発活動の内容について、記載します。

3 一時滞在施設の収容人数の見直し【第2章第3】

- ・現計画の一時滞在施設収容人数（12,600人）について、各一時滞在施設に調査・ヒアリングを行い、現状に即した収容人数に見直します。
また、建物の老朽化・バリアフリー化の状況についても併せて確認します。
- ・見直した収容人数で屋外滞留者（6,066人）の受け入れができるかどうかを確認し、一時滞在施設の指定状況を検証します。

4 その他

・国や東京都の計画、ガイドラインに関する記載や町田駅周辺の一時滞在施設のマップなどの時点更新を行います。

3 スケジュール

年度	月	実施内容
2025年度	7月	【第1回町田駅周辺帰宅困難者対策協議会】 町田駅周辺地域エリア防災計画改定方針（案）の付議
	7月～ 9月	・各一時滞在施設に収容人数等の調査・ヒアリング ・修正方針を基に計画改定素案の作成
	9月～ 11月	・庁内関係部署へ計画改定素案の意見照会及び調整 ・各関係部署へ計画改定素案の意見照会及び調整 ・計画改定案の作成
	1月	【第2回町田駅周辺帰宅困難者対策協議会】 町田駅周辺地域エリア防災計画改定（案）の付議
2026年度	3月～	【町田駅周辺地域エリア防災計画（2026年3月改定）の公表】 ・一時滞在施設開設運営マニュアルの更新 ・一時滞在施設（民間）との協定見直し
	4月以降	2026年度帰宅困難者対策訓練の実施（時期未定）

4 今後の帰宅困難者対策

今後の帰宅困難者対策については、町田市版BCMの考え方を準用し、計画の修正を経ながら、訓練、検証を行い、対策を推進していきます。

	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
地域防災計画		○		
エリア防災計画	○		○ ※必要に応じて	
訓練		○		○